

インターバンクの声（2017 年 3 月 30 日）

今週は米連邦準備制度理事会 (FRB) 当局者による講演が毎日行われているが、昨日「今年あと 1 回もしくは 2 回の利上げを支持」と語ったエバンス・シカゴ連銀総裁のようにややハト派的な委員もいる一方で、大半の委員は年内あと 2 回以上の利上げを主張している。

ただし、皆一応に条件次第であることを付け加えており、年末になって今年を振り返った時に、それぞれの主張と違った利上げ回数になった時のために保険をかけているようにも見える。

確かに今年の利上げ回数が 3 月の利上げを含めて 4 回になる可能性もまだ残されているが、市場は利上げの回数よりも次の利上げがいつになるのかを気にしているようだ。

前日の米消費者信頼感指数や昨日の米中古住宅販売仮契約数などのように指標は依然として米経済が堅調なことを示しているが、次の利上げ時期を探る上では来週に予定されているトランプ米大統領と中国習近平主席との会談や米雇用統計の発表などのイベントが気になる。

長期間にわたり、世界中の多くの市場参加者が同じ材料、同じ方向感を持って市場と相対峙してきた気がするが、今それが久しぶりにバラバラになっているような気もしている。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。